

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2019」において 『優秀賞』と『特別優秀企業賞』を受賞

住宅フランチャイズチェーン(以下、FC)を全国展開する株式会社LIXIL住宅研究所アイフルホームカンパニーは、一般財団法人日本地域開発センター(主務官庁:国土交通省)が主催する、省エネルギー性に優れた住宅を選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2019」において、『センボ』が下記の通り受賞しました。

◆受賞内容◆

カンパニー名	アイフルホーム
受賞名・商品名	優秀賞 「センボ」 <地域>1-7 地域※1
特別表彰	特別優秀企業賞

※1 省エネルギー基準による地域区分

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」は、省エネルギーやCO₂削減等にご貢献する住宅の普及と快適な住まいの実現にご貢献することを目的に、建物外皮と設備を一体とした省エネルギー性と、販売実績や設計・施工における標準化といった普及性を評価し、優れた住宅を表彰する制度です。



今回、各賞を受賞したアイフルホームは、断熱性・気密性に優れた躯体性能をベースに、それぞれが独自に、通風・創風・日射遮蔽などのパンプエネルギーの活用や無駄な電気の使用を抑えるためのHEMSや蓄電池などの提案を行っており、快適に過ごせる住まいづくりに取り組んでいます。LIXIL住宅研究所は、今後も商品やサービスを通じて、安心・安全で健康・快適に暮らせる住生活の未来にご貢献します。

報道関係者 お問合せ先

(株)LIXIL 住宅研究所 マーケティング推進部
千明 和彦(ちぎら かずひこ)
TEL:03-5626-8251 FAX:03-5626-8322
MAIL:kazuhiko.chigira@lixil.com

株式会社 LIXIL 住宅研究所
本社:東京都江東区 代表取締役社長:加嶋 伸彦
事業内容:アイフルホーム、フィアスホーム、GLホーム
国内最大の住宅FCを展開

本ニュースリリースは、本日、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にて、広報発表しています。

【参考】アイフルホーム

優秀賞「セシボ」(1-7 地域)

『セシボ』は、「こどもにやさしい は みんなにやさしい」をコンセプトにキッズデザインの考え方を取り入れ「すべての世代にやさしい家づくり」を目指して開発した住宅です。環境問題、安全性、快適な室内環境、経済性、家族の絆と夢など、住宅が解決しなければならない問題を見つめ「家そのもので出来ること」を追求しています。



●建物外皮・設備機器について

建物外皮性能は、外皮平均熱貫流率(U_A値)※と、冷房期の平均日射熱取得率(η_{AC} 値)で、1-7 地域の各基準値をクリアする性能を確保しています。

暖冷房、換気設備等には高効率機器を採用し、初期支出なしで太陽光発電システムの導入を支援するサービス「楽暮らし(ラクラン)発電」や、蓄電池をセットにした「楽暮らし(ラクラン)節電」などを展開。その他、IoTホームリンクによるエネルギーの見える化などを提案しています。

※外皮平均熱貫流率:住宅の断熱性能を表し、数値が小さいほど性能が高い。

●多様な省エネルギー手法の導入について

エネルギーを使わない工夫としてパッシブエネルギーを活用しています。温度差換気を利用した「創風」、風の通りを考えた「通風」、窓の配置などを工夫して風を取り入れる「採風」などの工夫を採用。また、建物内に外部の影響を取り入れないため、屋根と壁には遮熱の工夫をし、南面の窓には日射遮蔽効果のあるシェードを採用するなど快適性とエコ生活を両立します。

また、キッチンなどの水回りには節湯・節水に配慮した水栓、保温浴槽、節水型便器を採用し、照明はLEDとしました。また、幼児期からの環境意識醸成のため、子どもでもスイッチを押しやすい「高さ1mのスイッチ」などにより省エネルギーに配慮しています。



<通風・創風イメージ>

●省エネルギー住宅普及への取り組み

アイフルホームは、ZEHビルダー登録事業者として 2020 年度までのZEH住宅普及目標を 50%以上と掲げ、省エネ住宅の普及に取り組んでいます。2018 年度は 15%の目標に対し 16%を達成しました。さらに、未来へ向けて持続可能な社会を作るための研究開発や、オリジナルCADによるZEH判定・生涯コストシミュレーションの提案など、様々な方法で省エネ住宅の普及に取り組んでいます。



(左)アイフルホーム「セシボ」外観、(右)太陽光発電システムの導入を支援するサービス「楽暮らし発電」・「楽暮らし節電」パンフレット



ZEH判定レポート